

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム令和元年度第1回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和元年5月24日(金)13時00分～14時00分
- 2 場所：防災科学技術研究所 東京会議室
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤
陪席者：臼田（防災科学技術研究所）、中島（〃）、坂入（〃）、前山（〃）、平岡（セコム）、秋葉（筑波大学）、松原（〃）、鈴木（〃）（敬称略）

4 議事

(1) Joint Seminar 減災との共同シンポジウムについて（案）

遠藤委員より、資料1,2に基づき、Joint Seminar 減災との共同シンポジウムのテーマ、次第、広報等について説明があり、次のとおり一部修正のうえ承認された。

- テーマの『『想定外』を想定する』を『『想定外』を想定できる』に修正。
- テーマ説明文に、「世の中では低い確率で起こることを『想定外』という」旨加筆。
- 各話題提供の時間を10分から15分に修正。また、コーヒープレイクを休憩とし、時間を30分から10分に修正。
- 話題提供3について、仮タイトルを「関西大学におけるレジリエンス人材育成」とし、話題提供者を同大社会安全学部の永松教授に修正。
- パネルディスカッションのモデレーターを甘利副会長とし、登壇者から林会長とJoint Seminar 減災 河田代表を除く。
- 閉会挨拶後にレセプション（軽食あり）を実施。
- レセプション後にJoint Seminar 減災・コンソーシアム関係者のみの情報交換会を実施。
- ポスター発送先に、大阪府市区町村のみならず、兵庫県、京都府、奈良県の各市区町村を追加。

(2) 令和元年度リスク工学専攻体制について

遠藤委員より、資料3-5に基づき、筑波大学リスク工学専攻の入学者数、担当教員、開設科目について報告があった。

(3) NCDR 科目追加について

遠藤委員より、NCDR から筑波大学リスク工学専攻に提案された科目について、今年12月の開講を目指して手続きを進めている旨説明があった。

(4) 台湾大学との連携について

遠藤委員より、今後の台湾大学との連携の進め方について意見伺いがあり、林会長より、

今後も連絡を取り合い、例えば来日のうえ講演いただく等の交流を続けていくことが必要であるとの意見があった。

- (5) その他
特になし。

以 上